

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月28日

上場会社名 東洋機械金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6210 URL <http://www.toyo-mm.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田畑 禎章
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営企画室長 (氏名)酒井 雅人 (TEL) (078) 942-2345
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,785	△42.6	△531	—	△484	—	△439	—
2020年3月期第2四半期	17,038	9.6	1,093	13.8	1,091	9.5	652	5.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △511百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 629百万円(10.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△21 34	—
2020年3月期第2四半期	32 09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	28,686	17,771	61.0
2020年3月期	28,128	18,386	64.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 17,485百万円 2020年3月期 18,091百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10 00	—	5 00	15 00
2021年3月期	—	0 00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※2021年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	21,600	△29.1	△600	—	△560	—	△500	—	△24	29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	20,703,000株	2020年3月期	20,703,000株
2021年3月期2Q	122,174株	2020年3月期	112,815株
2021年3月期2Q	20,586,165株	2020年3月期2Q	20,342,655株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	
四半期包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が制限されるなどグローバルな経済活動に大きな影響を受ける結果となりました。わが国経済におきましても、4月7日付けで政府による緊急事態宣言が発令され、経済活動が大きく制限されるなか企業収益は急速に減少し、極めて厳しい状況に陥りました。緊急事態宣言が解除された後は、経済活動の再開が段階的に進められ、個人消費に持ち直しの動きもみられましたが、外出規制と雇用環境の悪化による個人消費の急速な冷え込みにより、回復の足取りは鈍く、国内外の景気の先行きは予断を許さない状況で推移いたしました。

当社の事業に関連する業界におきましては、米中関係悪化および新型コロナウイルス感染症の影響により、企業の投資マインドは全世界的に著しく縮小し、需要は一気に冷え込み、先行き不透明な厳しい市場環境となりました。

このような市場環境のもとではありますが、当社グループは、2021年3月期を最終年度とする3ケ年の中期経営計画「TOYO-G-Plan 2020」の基本方針“グローバル成長市場戦略に向けた事業の拡大、成長及び構造改革”に基づいた各種施策に取り組み、自社独自技術の新製品の開発、設備と調達ネットワークを活用したモノづくり、急速に変化する新しい営業スタイルの拡販施策による営業活動を展開し、事業の収益構造改革を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は10,696百万円（前年同四半期比19.8%減）、売上高は9,785百万円（同42.6%減）となりました。このうち、国内売上高は2,993百万円（同48.7%減）、海外売上高は6,792百万円（同39.4%減）となり、海外比率は69.4%となりました。

利益につきましては、市場環境が大きく変動し、受注・売上が大幅に減少したことから、全社的な経費削減に取り組みましたが、生産量の減少に伴う操業度低下により固定費回収不足が生じ、営業損失は531百万円、経常損失は484百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は439百万円となりました。

製品別の売上の状況は、以下の通りです。

[射出成形機]

射出成形機につきましては、国内は、雑貨や容器類などの生活用品や自動車関連が減少しました。また、海外におきましては、中国でのIT電子機器関連の小型機は堅調に推移しましたが、欧州や米国での生活用品関連や東南アジアでの自動車関連が減少しました。その結果、売上高は7,471百万円（前年同四半期比43.9%減）となりました。

[ダイカストマシン]

自動車関連向けを中心とするダイカストマシンにつきましては、国内は減少しました。また、海外におきましては、東南アジアや中国が減少しました。その結果、売上高は2,313百万円（前年同四半期比38.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて176百万円増加しました。これは、主に売上債権の減少2,362百万円及びたな卸資産の減少132百万円があったものの、現金及び預金の増加2,756百万円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて381百万円増加しました。これは、主に投資有価証券の減少68百万円があったものの、有形固定資産の増加341百万円及び繰延税金資産の増加109百万円があったことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて494百万円増加しました。これは、主に仕入債務の減少625百万円があったものの、短期借入金の増加800百万円及び一年内返済予定の長期借入金の増加200百万円があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて677百万円増加しました。これは、主に長期借入金の増加660百万円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて614百万円減少しました。これは、主に配当を行ったことによる利益剰余金の減少102百万円及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少439百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済見通しにつきましては、わが国経済における新型コロナウイルス感染症の影響は、緊急事態宣言が解除された後も、雇用・所得環境の悪化が続いており、個人消費や企業収益の回復も先行きが見えない不透明な状況となっております。また、世界経済においては、各国によって状況の違いはありますが、欧米先進諸国では段階的な経済活動の再開に動き始めており、景気の悪化はいったん底を打ちました。しかし、新型コロナウイルスの脅威は依然として継続しており、経済活動への影響は予断を許さない状況となっております。

また、当社グループを取り巻く市場環境は、中国のIT電子機器、医療関連は、堅調に推移すると予想されますが、国内や東南アジア、欧州、米国の自動車や生活用品関連の需要は低調に推移すると予想されます。

当社グループは、変動する市場の需要に対してスピード感をもって対応し、総合的な営業力・技術力・生産力をもって、受注・売上の確保に努め、また一層の経費削減や投資計画の見直しにも取り組んでまいります。しかし、今後市場環境の悪化が継続することが見込まれ、売上規模が縮小すると予想されます。

この結果、通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績および今後の見通しを踏まえ、下記のとおり修正いたします。

2021年3月期通期業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	23,300	△370	△370	△580	△28 35
今回修正予想 (B)	21,600	△600	△560	△500	△24 29
増減額 (B-A)	△1,700	△230	△190	80	
増減率 (%)	△7.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	30,453	1,426	1,438	883	43 20

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,054	7,811
受取手形及び売掛金	5,827	3,692
電子記録債権	1,642	1,414
商品及び製品	2,750	2,543
仕掛品	2,482	2,462
原材料及び貯蔵品	407	502
その他	903	816
貸倒引当金	△8	△6
流動資産合計	19,061	19,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,725	4,239
機械装置及び運搬具（純額）	1,796	1,995
工具、器具及び備品（純額）	118	134
土地	780	780
リース資産（純額）	3	2
建設仮勘定	400	13
有形固定資産合計	6,825	7,166
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	968	899
繰延税金資産	492	601
退職給付に係る資産	87	88
その他	53	45
貸倒引当金	△3	△0
投資その他の資産合計	1,597	1,634
固定資産合計	9,067	9,449
資産合計	28,128	28,686

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,101	2,639
電子記録債務	891	728
短期借入金	900	1,700
1年内返済予定の長期借入金	200	400
未払費用	648	642
未払法人税等	73	85
未払消費税等	18	10
製品保証引当金	89	71
役員賞与引当金	7	—
その他	1,231	1,378
流動負債合計	7,161	7,656
固定負債		
長期借入金	100	760
退職給付に係る負債	2,471	2,489
その他	9	8
固定負債合計	2,580	3,257
負債合計	9,742	10,914
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,506	2,506
資本剰余金	2,382	2,382
利益剰余金	13,268	12,726
自己株式	△40	△40
株主資本合計	18,117	17,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52	71
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△14	△103
退職給付に係る調整累計額	△63	△57
その他の包括利益累計額合計	△25	△90
非支配株主持分	294	286
純資産合計	18,386	17,771
負債純資産合計	28,128	28,686

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	17,038	9,785
売上原価	13,178	8,242
売上総利益	3,860	1,543
販売費及び一般管理費	2,767	2,074
営業利益又は営業損失(△)	1,093	△531
営業外収益		
受取利息及び配当金	4	12
固定資産賃貸料	33	33
助成金収入	—	47
受取補償金	17	—
その他	18	25
営業外収益合計	74	118
営業外費用		
支払利息	2	4
支払手数料	11	1
手形売却損	1	0
固定資産除却損	2	0
固定資産賃貸費用	4	4
為替差損	44	10
持分法による投資損失	—	48
その他	8	1
営業外費用合計	75	71
経常利益又は経常損失(△)	1,091	△484
特別損失		
固定資産除却損	96	—
特別損失合計	96	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	995	△484
法人税、住民税及び事業税	322	94
法人税等還付税額	—	△23
法人税等調整額	5	△120
法人税等合計	328	△48
四半期純利益又は四半期純損失(△)	667	△435
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	652	△439

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	667	△435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	18
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△52	△92
退職給付に係る調整額	3	5
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△7
その他の包括利益合計	△37	△75
四半期包括利益	629	△511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	608	△503
非支配株主に係る四半期包括利益	21	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、前連結会計年度において非連結子会社でありました TOYO MACHINERY VIETNAM CO., LTDは重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。